

## 事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

### 1 事業者等の概要

氏名又は名称	信州ミルクランド株式会社					
代表者名	氏名	丸川 通裕	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	松本市梓川倭3862-1					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	09 食料品製造業				
主たる事業の概要	牛乳・乳製品製造業					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kl	3,669	3,770	3,518	3,396	3,277
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO <sub>2</sub>	7,686	7,070	6,536	6,303	6,083
その他ガス排出量合計	t-CO <sub>2</sub>	0		0	0	0
自動車の台数	台	2		2	2	2
自動車からの排気ガス合計	t-CO <sub>2</sub>	0				

### 2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度	計画期間	2020	年度～	2022	年度
報告対象年度	2022	年度					

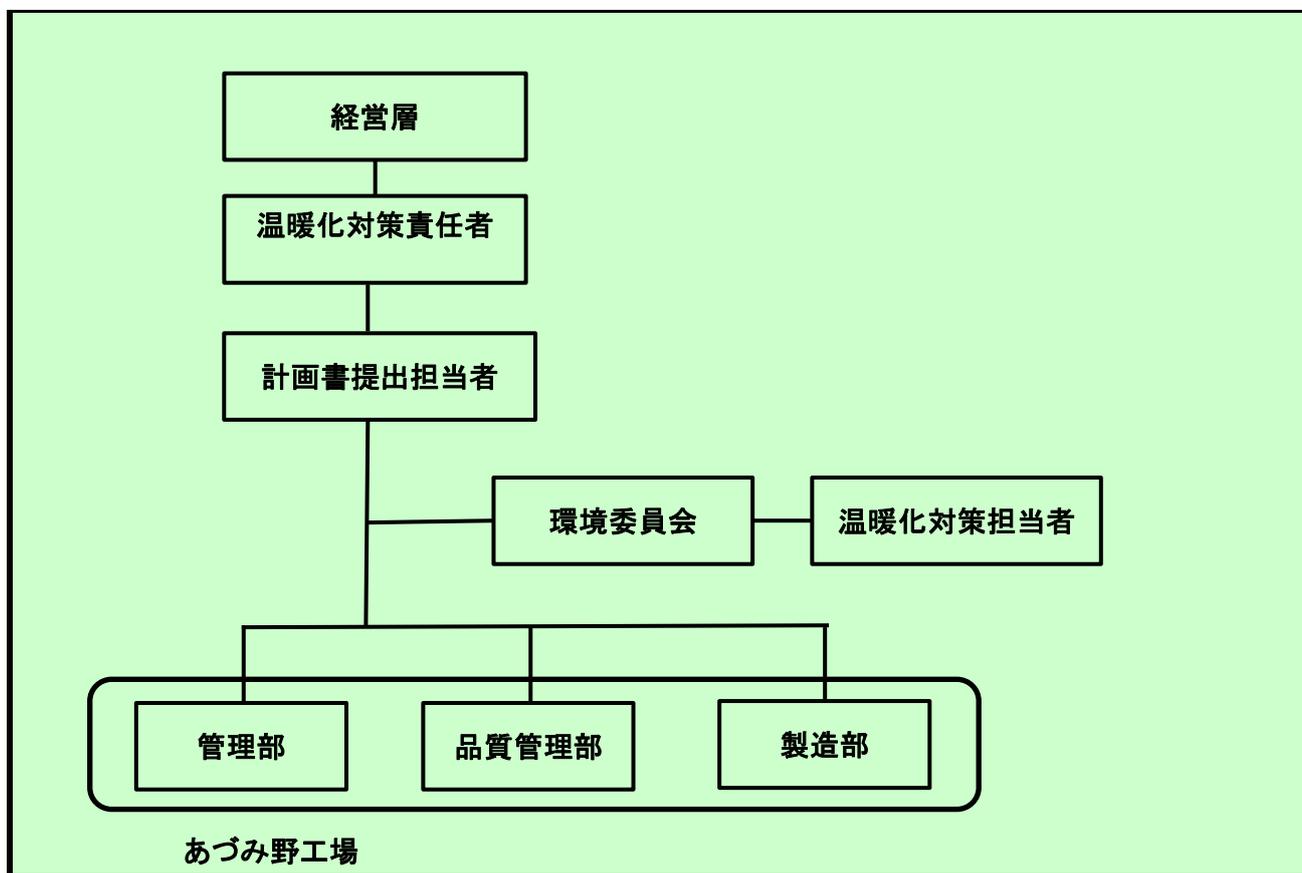
### 3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	工場見学受付に資料を閲覧可能（平日9:00～17:00 総務課 0263-76-1234）
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

#### 4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

環境マネジメントシステムを有効に活用し、省エネ・省資源に努める

#### 5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



#### 5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

環境委員会 (月1回開催)

様式1号  
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	7,686	t-CO <sub>2</sub>	生産数量	464.00	単位	百 t
2019 年度	調整後排出量	7,686	t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	16.56	t-CO <sub>2</sub> /	百 t
目標年度	目標排出量	7,070	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	16.06	t-CO <sub>2</sub> /	百 t
2022 年度	目標削減率	8.01	%	目標削減率	3.00	%	
目標設定に関する説明	排出量についてはボイラ燃料の燃料転換により大幅に削減できるため削減量を考慮し設定。原単位については燃料転換を考慮しても製品構成による影響もあるため年1%削減を目標設定。						
第一年度	排出量	6,536	t-CO <sub>2</sub>	生産数量	433.00	単位	百 t
	削減率	14.96	%	原単位	15.09	t-CO <sub>2</sub> /	百 t
2020 年度	調整後排出量	6,536	t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率	8.87	%	
	削減率	14.96	%				
排出量等の増減理由	製造数量削減によるエネルギー使用量の削減。 ボイラ燃料をLNG化したことで効率向上による使用量の削減が寄与している。						
第二年度	排出量	6,303	t-CO <sub>2</sub>	生産数量	447.00	単位	百 t
	削減率	17.99	%	原単位	14.10	t-CO <sub>2</sub> /	百 t
2021 年度	調整後排出量	6,303	t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率	14.85	%	
	削減率	17.99	%				
排出量等の増減理由	蒸気使用設備の温度管理の見直し、設備改修によりロスが改善された。 製品構成の変化で熱負荷の高い製品の割合が減少したため。						
第三年度	排出量	6,083	t-CO <sub>2</sub>	生産数量	420.00	単位	百 t
	削減率	20.85	t-CO <sub>2</sub>	原単位	14.48	t-CO <sub>2</sub> /	百 t
2022 年度	調整後排出量	6,083	t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率	12.56	%	
	削減率	20.85	%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由	前年度に対しては生産数量の減少により排出量は削減できたものの品種構成の関係で熱負荷の高い製品が増加したことで原単位については悪化傾向となっている。目標については燃料転換（LNG化）における効果が大きく、また設備の改善や省エネ活動の推進により排出量の削減及び原単位が改善されている。						

様式1号  
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
2019年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2020年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2021年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号  
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
2019年度				基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
				原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2020年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
				原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2021年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
				原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号  
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO <sub>2</sub> )	実施 年度	推計削減量 (t-CO <sub>2</sub> )
1	エネ起	320351	蒸気配管系の断熱強化	2020～ 2022	50		
2	エネ起	320302	スチームトラップの保全管理	2020～ 2022	30		
3	エネ起	360799	コンプレッサーの更新	2020～ 2022	20	2021	10
4	エネ起	360799	配管のループ化	2020～ 2021	20		
5	エネ起	360799	ブロア導入による圧縮空気削減	2021～ 2022	30		
6	エネ起	330299	ヒートポンプ設備の導入	2021～ 2022	50		
7	エネ起	170303	太陽光発電の検討	2020～ 2022	80		
8	エネ起	330299	空気調和設備の更新	2020～ 2022	60	2020～ 2021	30
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

様式1号  
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO<sub>2</sub>)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	1	7,686	1	6,536	1	6,303	1	6,083
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満								
合計	1	7,686	1	6,536	1	6,303	1	6,083

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO<sub>2</sub>)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>	0			
CH <sub>4</sub>	0			
N <sub>2</sub> O	0			
HFC	0			
PFC	0			
SF <sub>6</sub>	0			
NF <sub>3</sub>	0			
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)				
合計	0	0	0	0
自動車総数	2	2	2	2
次世代車導入割合				

様式1号  
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	特になし
自転車の利用促進	特になし
来客者の交通対策	特になし
物流の合理化	特になし

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		
	実施内容		実施年度
<input checked="" type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		2022
<input type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している 名称		
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input checked="" type="checkbox"/> その他	工場内緑化活動の推進		2022

1.5 自由記載欄